

## 「副反応？」と思ったら…

### ◆通常みられる反応

ワクチンの種類で異なりますが、発熱、接種局所の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、発疹などが比較的高い頻度（数%～数十%）で起こります。通常、数日以内に自然に治るので心配ありません。

（※「予防接種の対象となる病気とワクチンの副反応」を参照）

### ◆重い副反応

接種後、接種局所のひどい腫れ、高熱、ひきつけなどの症状があったらすぐに受診してください。お子さんの症状が「予防接種後副反応報告基準」に該当する場合は、医師から厚生労働省へ副反応の報告が行われます。

ワクチンの種類によっては極めてまれ（百万～数百万人に1人程度）に脳炎や神経障害などの重い副反応が生じることもあります。このような場合に厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。

### ◆紛れ込み反応

接種後しばらく後に何らかの症状が出現すれば、予防接種が原因ではないかと疑われることがあります。しかし、たまたま同じ時期に発症したほかの感染症などが原因であることが明らかになることがあります。